

**桜美林大学リベラルアーツ学群**  
教員公募応募書類（様式）及び記入要領

**履歴書（桜美林大学履歴書）記入要領**

- (1) 「氏名」欄については、旧姓等の通称名を使用している場合、通称名の使用欄に通称名を記入してください。
- (2) 「生年月日（年齢）」欄の年齢には、作成日時点での満年齢を記入してください。  
日付は西暦で記載してください。
- (3) 「学歴」欄について
  - ① 高等学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合、すべての学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
  - ② 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ③ 外国の大学等での学歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。
- (4) 「学位・資格・免許等」欄について
  - ① 学位については、授与大学等の名称を学位記通りに記入してください。  
学位における専攻分野の名称の表し方  
例1) 「○学修士」、「○学士」  
例2) 「学士（専攻分野）」、「修士（専攻分野）」、「博士（専攻分野）」  
※必ずご自身の授与された学位記を確認し、学位記通りに記入をしてください。
  - ② 教員、学芸員、図書館司書、弁護士等の資格についても記入してください。その際、取得年月、登録番号を併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
- (5) 「学会及び社会における活動等」の欄について
  - ① 「現在所属している学会」には、記入時において所属する学会の名称を記入してください。
  - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
  - ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。
- (6) 「職歴」の欄について
  - ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。大学において専任教員である場合の職名は、教授、准教授、講師、助教、助手のいずれかを記入し、専任教員、任期制教員、テニュア・トラック教員、非常勤講師などの勤務形態について記入してください。
  - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
  - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等での留学・研究歴についても記入してください。大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。
  - ④ 過去に文部科学省の教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む）を記入してください。また、過去に教職課程設置審査を受けた場合には、当該認定に係る時期、大学の名称、担当授業科目の名称を記入してください。
  - ⑤ 大学教員等の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

- ⑥他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名、「職名」に兼任、「学部等又は所属部局の名称」に学部学科名（全学共通の場合などは適宜わかるような表記）、「勤務状況」は週あたりの勤務日数または担当コマ数を記入してください。
- ⑦大学以外の業務の場合は、従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入してください。
- (7)「講義言語（授業を行うことのできる言語と分野名・科目）」の欄について
- ①授業を行うことのできる言語と分野名・科目を記入してください。
- (8)「自己PR」の欄について
- ①これまでの経歴を踏まえ本学リベラル・アーツ学群でどのような教育・研究ができるかも含めて記入してください。
- ②これまでの大学等における委員としての活動について、主要なものを記入してください。
- (9)「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

【履歴書記入例】

履歴書

2025年 6 月 30 日現在

写真貼  
付  
4 cm × 3  
cm  
(背景なし)

※性別・国籍は採用後に  
外部調査等で使用します

フリガナ	オウビリン タロウ		性別※
氏名	桜美林 太郎		男・女
アルファベット	Obirin Taro		
通称名の使用	なし or あり (通称名)		
生年月日	年 月 日 (満 歳)	国籍※	
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 横浜市〇〇区1丁目1番〇〇		
書類送付先	現住所と同じ or 現住所と異なる場合 ( )		
メールアドレス	〇〇〇@yyy.com		
電話番号	04〇-000-0000	携帯電話番号	090-0000-0000
学 歴			
年 月	事 項		
〇〇〇〇年〇月	〇〇〇〇年〇月	〇〇県立〇〇高等学校	卒業
〇〇〇〇年〇月	〇〇〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	在籍中or退学or修了
〇〇〇〇年〇月	〇〇〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇博士前期課程	在籍中or退学or修了
〇〇〇〇年〇月	〇〇〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇博士後期課程	在籍中or退学or修了
			※単位取得後退学の 場合もご記載下 さい
学 位 ・ 資 格 ・ 免 許 等			
授与年月日	称号名	授与大学等名称	
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	学士 (〇〇)	〇〇	
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	修士 (〇〇)	〇〇	
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	博士 (〇〇)	〇〇 (博第〇〇号)	
取得年月日	資 格 ・ 免 許 等		
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	教員免許状(中学校教諭一種免許状(〇〇科)取得(△△県教育委員会:平 14 中一種第××号)		
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	文部科学省教職課程設置審査合格(「〇〇学」、「〇〇概論」)		
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	文部科学省教員審査 〇〇専攻「M〇合」判定		
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
〇〇〇〇年〇〇月	日本〇〇学会会員(現在に至る)		
〇〇〇〇年〇〇月	日本□□学会正会員(現在に至る)		
〇〇〇〇年〇〇月	〇〇省××審議会△△分科会委員(2014年3月まで)		
〇〇〇〇年〇〇月	全国〇〇協議会会員(2017年9月まで)		

職		歴
年	月	事 項
〇〇〇〇年〇〇月	〇〇〇〇年〇〇月	〇〇会社
〇〇〇〇年〇〇月	現在に至る	〇〇大学非常勤講師 (〇〇〇〇を担当、受講者約〇〇名など)
〇〇〇〇年〇〇月	〇〇〇〇年〇〇月	〇〇大学非常勤講師 (〇〇〇〇を担当、受講者約〇〇名など)
〇〇〇〇年〇〇月	現在に至る	〇〇大学非常勤講師 (〇〇〇〇を担当、受講者約〇〇名など)
講義言語 (授業を行うことのできる言語と分野名・科目)		
日本語 (〇〇〇〇)、英語 (〇〇〇〇)		
自己PR (本人が独自に設定した基準による自己評価)		
賞		罰
年	月	事 項
〇〇〇〇年〇〇月		日本〇〇学会 ◇◇◇賞 受賞

上記のとおり相違ありません。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

氏名 桜美林 太郎 (署名の場合押印不要) ㊞

## 教育研究業績書（文部科学省様式第4号（その2）準拠）記入要領

※「〇〇」の例はあくまでも例です。

### (1) 「氏名」の欄について

「氏名」の欄には、旧姓等の通称名を使用している場合、（ ）書きで本名を併記してください。

### (2) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称（研究分野・細目表）を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当する分野等がない場合は、適宜、記入してください。

### (3) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

①「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

②「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

③「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における役割や成果等を記入してください。

#### ④「教育上の能力に関する事項」の例

ア「1 教育方法の実践例」について

- ・授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上の公開等
- ・教育委員会や教員研修所等の教育機関における教育経験

イ「2 作成した教科書、教材」の例

- ・授業や研修指導等で使用する著書、教材等

ウ「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

- ・学生による授業評価、教員による相互評価、表彰等の結果
- ・各大学における自己点検・評価での評価結果
- ・採用決定の際等における評価内容

エ「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

- ・大学から受け入れた実習生等に対する指導
- ・教育委員会や職能団体等の依頼による研修指導等
- ・訴訟・審判・監査・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- ・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

オ「5 その他」

- ・大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- ・国家試験問題の作成等

#### ⑤「職務上の実績に関する事項」の例

ア「1 資格、免許」

- ・教員、学芸員、図書館司書、弁護士等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ「2 特許等」

- ・特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- ・大学との共同研究
  - ・訴訟、審判、監査、企業提携、研究開発等の担当実績
  - ・各種審議会、行政委員会、各種研究会等の委員
  - ・行政機関における調査官等
  - ・研究会、ワークショップ、研修会等での報告や発表（研究業績を除く）
  - ・調査研究、留学、海外事情調査等
  - ・上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等があれば記載
- エ「4 その他」
- ・職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
  - ・論文の引用実績等

(4)「研究業績等に関する事項」の欄について

- ①「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において発表済みのもののみ記入してください。
- ②「著書、学術論文等の名称」の項について
  - ア 研究等に関連する主要な業績を「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
  - イ 著書については、書名を記入してください。
  - ウ 学術論文については、学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
  - エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
  - オ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- ③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
  - ア 著書については、発行所を記入してください。
  - イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記して下さい。
  - ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑥「概要」の項について
  - ア 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。
  - イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと）を含め、著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

【教育研究業績書記入例】

## 教育研究業績書

2025年 4月 1日氏名 桜美林 太郎 印

研究分野	研究内容のキーワード	
〇〇〇学	〇〇〇〇〇〇〇〇	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 (1) 〇〇が参加した〇〇学と〇〇体験、〇〇方法体験 (2) オンラインでの研究倫理教育研修	2017年4月1日～ 2018年3月31日 2019年7月12日	〇〇大学との共同により、〇〇体験・・・ 利便性が高い研究倫理教育の方策として、オンデマンドによる・・・
2 作成した教科書, 教材 (1) 〇〇学(〇〇出版)	2016年5月1日	文部科学省との共催により、〇〇学の××課程向け教科書として作成され・・・
3 教育上の能力に関する大学等の評価 (1) 〇〇大学××年度授業アンケート (2) 自己点検・外部評価	2016年1月31日 2018年3月31日	学生による授業評価アンケートにおいて・・・ (評価内容)
4 実務の経験を有する者についての特記事項 (1) 公開講座(〇〇大学)〇〇について	2012年10月15日	〇〇について〇〇を講演、実技を兼ねる
5 その他 (1)		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許 (1) 〇〇士免許	2002年3月31日	登録番号〇〇〇〇号
2 特許等 (1) 特になし		

<p>3 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>(1) ●●株式会社××課</p>	<p>2002年4月1日～ 2006年3月31日</p>	<p>××主任として、以下のプロジェクトを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○(2002年4月1日～2004年3月31日)</li> <li>・●●(2004年4月1日～2006年3月31日)</li> </ul>
<p>4 その他</p> <p>(1) ○○県○○健康フェア ○○県○○会と共同開催</p>	<p>2010年11月15日 ～2012年12月15日</p>	<p>○○市○○会と共同し○○市民に対し○○を実施し、対象者に結果をフィードバックした。市民に対し○○に対する啓発を行った</p>

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
<b>(著書)</b>				
(1) ○○学概論	共著	2000年○月	□□出版社	<p>..... (200字程度以上).....。</p> <p>(p 55-p 80) 桜美林太郎，△△△子(共著書全体の共著者を記載)</p>
			著者が共著の場合は，本人の担当の章，節，題名，掲載ページを「概要」に入れる	
(2) □□□総論	単著	2010年○月	△△書店	<p>.....</p> <p>(p 1-p 120)</p>
(3)	古いものから順に記載して下さい。			
<b>(学術論文)</b>				
(1) ○○○における××法の検討(査読付き)	共著	2001年8月	□□□学会誌 第10巻第8号，pp. ○～○	<p>○○○解析のために××法を開発し，その方法の実証を△△を用いて○○○解析が可能であることを示した研究。</p> <p>担当部分:○○分析と考察</p> <p>(p 15-p 20) ××××，<u>桜美林太郎</u>，△△△子</p>
			学術論文の場合は，雑誌名称，巻・号，掲載ページはここに入れる	
(2) Study of ..... (査読付き)	共著	2002. 2.	Journal of ..... Vol. 56, No. 2, pp. ○～○	<p>○○○である△△を，××法を用いて検出，定量的な解析を行った。○○が□□であることを初めて示した。</p> <p>(p 25-p 32) ○○○○，△△△△，<u>Obirin T.</u></p>
(3)				
(4)				
<b>(その他)</b>				
<b>(解説等)</b>				
(1)				
<b>(研究報告書)</b>				
(1)				
<b>(学会報告)</b>				
(1) ○○○における××法の検討	共著	2000年○月	第○回日本○○学会 (東京都)	<p>○○○解析のために××法を開発し，その方法の実証を△△を用いて○○○解析が可能であることを報告した。<u>桜美林太郎</u>，○○○○</p>
(2)				
(3)				